



きたネット

きたネットWeb <http://www.kitanet.org/>
きたマップ <http://kimap.net>
環境情報Blog <http://blog.go.ne.jp/kitanet-staff>
きたネットFacebook <https://www.facebook.com/kitanet.org>
ラフォーテス・クリーンアップin北海道 <http://www.love-earth-hokkaido.jp>

11

vol. KITA-NET NEWS 2022/04

きたネットニュース

MESSAGE

2022年11月、きたネットは設立20周年を迎えます。

「平和に勝る福祉なし、戦争に勝る環境破壊なし」という言葉があります。COVID-19禍、記録的な大雪のあと、ロシアのウクライナ侵攻という大事件が勃発しました。私たちの社会、暮らしは大きな問題を突きつけられています。そんな中、北海道では、知床の観光船の事故が起こり大きな衝撃を受けています。徹底的な原因究明と、事故を二度と起こさないための仕組みが必要です。また、高病原性鳥インフルエンザ、北海道各地で都市エリアへのヒグマの出没など、次々と問題が生じています。このような状況下、環境団体のネットワークに何ができるかを共に考え実行していきましょう。



鳥類の研究者から、イベントやセミナーのコーディネーター。専門家から学ぶ場づくりにどんどんトライしよう！

きたネット理事

長谷川 理 (NPO法人 EnVision環境保全事務所)

一昨年まで4年続けて「きたネットフォーラム」に携わり、企画や司会進行役を務めた。人材育成、都市のヒグマ、野生生物のリスク、餌付け問題といったテーマを取り上げた。きたネットフォーラム以外にも、これまで様々なシンポジウムやミニ講演会、野外での自然観察会などを企画・開催してきた。

元々はタンチョウや海鳥類を対象に、野外調査やDNA分析を用いた研究に従事していた。研究活動は今も変わらず好きだが、どうも一つの事を探求し続ける素養に乏しく、いろんなことに首をつっこんだり、足を踏み入れたり、手を汚したりしている。研究分野だけでなく、他業界の話の聞くのは楽しい。ただ根気も無い上に面倒くさがりのため、分からないことを自分で調べて解明するような地道な努力はできない。手っ取り早く誰かに聞くほうがラクなんだ。そこで、誰かしらに取り入る術を磨こうと地道な努力を重ねた。講師料も払わないで個人的に専門家の話を聞くのも気が引けるので、活動助成金を申請し

てフォーラム等を企画し、講演してもらおう作戦をとることにした。社会貢献を口先で唱えつつ、ようは自分が知りたいことを参加者を巻き込んで聞くという、素晴らしく我儘な作戦なのだ。そんな身勝手な心根でも、何度か繰り返すうちにフォーラムの企画や運営に慣れてきた。やがて司会やコーディネートを他団体から依頼されるようになった。その一つがきたネットだ。"ファシリテーター"とやらを依頼された際は、意味が分からないのでこっそりネットで調べて、さも最初から知っていたかのような顔で引き受けた。こうして知ったかぶりにも達した。うまく進行できず登壇者や参加者のヒンシュクを買うこともあるが、そんなことは気にしない。きっと面の皮も厚く成長したのであろう。

こんな私でもいろいろな企画ができるのだから、この文章をお読みのみなさんもどんどんチャレンジして欲しい。開催を支援してくれる助成金もあるし、新型コロナの流行の中で「オンライン開催」という新しい手段も浸透した。不慣れた技術面や通信不備などの不安もあると思うが、きっとなんとかなるでしょう。思い切ってトライしてください。

INFORMATION

きたネット2022年度通常総会6月24日開催

きたネットの2022年度通常総会は、昨年にひきつづきONLINE総会として開催します。正会員のみなさまぜひご出席ください。正会員が欠席の場合は、書面評決書、または委任状のご提出をお願いいたします。ONLINE総会には賛助会員のみなさんも参加できます。

■議案送付予定 6月中旬
■ONLINE総会 2022年6月24日(金)19:00~20:30
詳細は書面にてご案内いたします。

きたネット賛助会員／北海道の環境活動を支援する企業・団体

公益財団法人秋山記念生命科学振興財団 / 網走市廃棄物処理協同組合 / 株式会社櫻井千田 / 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団 / 親切会北海道支部 / 株式会社地域環境計画北海道支社 / DCM株式会社 / 株式会社トゥリー / パタゴニア札幌北・パタゴニアアウトレット札幌南 / 株式会社プリプレス・センター / 公益財団法人北海道新聞野生生物基金 / 一般財団法人前田一歩園財団 / 雪印種苗株式会社 /

きたネットの活動にご寄付・ご協賛をいただいたみなさまありがとうございました(2021年4月~2022年3月)

全国賃貸管理ビジネス協会 北海道支部、公益財団法人日本賃貸住宅管理協会 北海道ブロック、公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会 北海道支部、株式会社北翔、DCM株式会社、しらイトランク・サポート株式会社、山本建設株式会社、石上車輛株式会社、株式会社櫻井千田、北海道中央バス株式会社、札幌工業株式会社、フォレストクリエイティブ(TACK)、株式会社ファズ、株式会社宮北都市開発、株式会社セクト、株式会社平和恒産、有限会社ドルフ、株式会社江上、株式会社札幌カンリセンター、株式会社トラベル北海道、コープさっぽろ組合員活動委員会、コープさっぽろ組合員活動地区委員会12地区/南空知・石狩B・函館・室蘭・北見・札幌東・苫小牧・帯広・釧路・旭川・西・小樽

【NPO法人 北海道市民環境ネットワーク事務局】

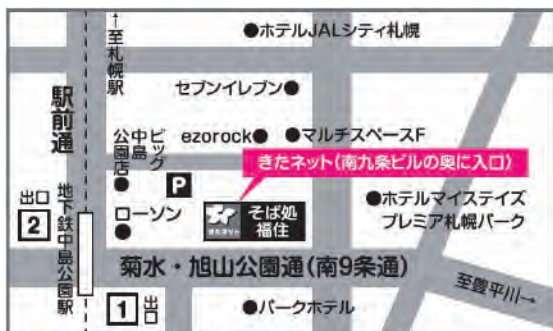
〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目2-5 南九条ビル603

Tel 011-215-0148 Fax 011-215-0149

E-mail office@kitanet.org



きたネットは、一般財団法人セブン-イレブン記念財団から助成を受け、市民の環境活動を支援する「市民環境活動支援協定」を結び、北海道の自然環境を子どもたちの未来へ引き継ぐために活動を行っています。



NPO法人
北海道市民環境ネットワーク
「きたネット」

北海道の環境保全活動を推進・支援する団体・個人・企業が参加するネットワークです。

2022年11月
きたネット設立20周年

きたネットは2002年11月9日に設立、みなさんのご支援のもと、今年、設立20周年を迎えます。20周年を記念し、これまでの歩みと今後を考えるセミナー、11月には、会員のみなさんにお集まりいただける会を設けたいと考えています。詳細は総会の際にご相談させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

KITA-NET MEMBERS



一般社団法人 楽子森

「森が日常になるように」との願いを込めて

「子どもが真ん中で、楽しく森で過ごそう!」という考えのもと設立しました。現在、森のようちえん「いつもり」月1回と環境セミナー年2~3回を南区真駒内を中心に活動しております。

環境セミナーは、「札幌市民も発見できるかもしれない!?謎めいた生き物の話」でシロマダラやコウモリのお話と、バットディテクターでコウモリを探索、かすみ網で捕獲にも挑戦しました。「石組み工で山道に階段をつくろう!」では、身近な平たい石を使い、圧力の方向を考えながら石を組んでいくという石組み工を学び、石階段をつくりました。「年末特別企画!稲わらでミニしめ縄づくり」では、自然栽培の稲わらを綱(な)って小さなしめ縄作りを行いました。

「木育」にも力を入れており「木であそぼin桜山」を共催し、森と触れ合ったあと自然物を使用したクラフトを楽しみました。10月には全国育樹祭のおもてなし広場にも参加、薄い木にバーニングペンで絵を描き、スマホカバーの着せ替えをつくるWSも行いました。今年は「ちょこっと木育ワークショップ」を開催。削り馬を使用したグリーンウッドワーク体験や木製おもちゃで遊ぶ企画も実施いたしました。今後も、SDGsを意識しながら、ふゆみずたんぼの復元、森でまな部~中高生対象に放課後森に集まり思い思いに過ごす「森部」(居場所)づくり~なども盛り上げていきたいと思っています。森部部員を大募集中です!ボランティアも募集していますので、お気軽にお問い合わせください。【電話】070-8985-0961 【HP】<https://tanoshimo.net/>



旭山森と人の会

野鳥や自然から人と人とのつながりへ

旭山森と人の会は、2002年、旭山都市環境林で活動する森林ボランティア団体としてスタートしました。当時は旭山記念公園再整備計画が進んでおり、そのワークショップの中で、森林ボランティア活動を通して得られたことを市民と行政との協働による公園維持管理にフィードバックさせることが目的でした。伐木作業、植生調査、生物調査、環境教育、ゴミ拾いや各種観察会イベントなど公園内での活動に携わりました。しかし設立メンバーが少しずつ離れるにつれ活動も先細りとなり、2010年代は「名ばかり団体」となっていました。

2020年代に入り、コロナ禍の中、旭山で野鳥観察・撮影を楽しむ人が増え、一気に人のつながりが膨らみ、公園や自然に関わる活動に興味を持つ人が増えた結果、野鳥を通して自然への理解を深めつつ人と人がつながる「新生」旭山森と人の会として、再び活動が活発になりました。現在は、月2回の野鳥観察会サポート、ゴミ拾い、笹刈り、公園樹木維持管理サポートなどの活動を行っています。

そしてもうひとつ、野鳥観察・撮影で旭山を訪れた方々への案内も重要な活動と位置付けています。公園内の観察ポイント紹介や季節の動植物の情報発信、時には公園外の野鳥情報も交えながら、日々楽しくお話ししています。旭山記念公園「森の家」を拠点に、野鳥や自然を通しての人と人とのつながりを大切にしています。野鳥や自然観察・撮影を始めよう、もう少し先に進もうと思ったら、ぜひ旭山記念公園「森の家」を訪れてみてください。

【旭山記念公園HP】 <https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>

KITA-NET CHOISE

モリイク23号記事



「となりのヒグマとともに生きるために」ダウンロード・配布フリーとしました。

コープさっぽろ未来(あした)の森づくり基金広報誌「モリイク」23号(2022.4発行)に、きたネットmorinokoチームで、ヒグマの会事務局長・酪農学園大学教授の佐藤喜和先生のご協力・ご指導をいただいて、アーバンベア、人に近いところに棲むクマと共に生きるための記事を作成、掲載しています。「ヒグマはそばにいる」という意識のもとで、必要な知識、装備や行動を提案する記事です。安全な暮らしのためにご活用ください。その記事を、コープさっぽろ未来の森づくり基金のご協力をいただき、どなたでも見ていただけるように、また、必要であればダウンロード、配布していただけるようにしました。ぜひ、ご活用ください。(記事の加工や部分利用、商用利用などは原則禁止、ご相談承ります) 本件に関するお問い合わせは office@kitanet.org

<https://bit.ly/3JWGJKM>

コープ未来(あした)の森づくり基金&札幌市円山動物園

「どんぐりプロジェクト」環境教育動画 秋・冬編を公開しました!



きたネットでは、コープ未来の森づくり募金が開催する北海道の森の豊かさや北海道の生物のいのちのつながりを学ぶ小学生を対象とした環境教育プログラム「どんぐりプロジェクト」の企画運営に関わり、会員のみなさんのご協力のもと、2016年から年に4回、春・夏・秋・冬に、円山動物園で環境教育イベントを開催してきました。しかし2020年・2021年は新型コロナウイルス感染症対策により、プログラムの実施が難しい状況となったことから、この機にこれまでのプログラムの四季のテーマを4本の動画と、4本をつなげた総集編にまとめました。●春~雪解け一番キーワードは「早起き」●夏~豊かだけど命がけ●秋~森は実りの季節●冬~雪の森と春待つイキモノコープ未来(あした)の森づくり基金のyoutubeでご覧いただけます。

<https://youtu.be/dfLQxLi9G-E>

【全国中間支援3団体連携事業】

新型コロナウイルス状況下、ON LINEで助成サミット開催

【報告】NPO法人エコネット近畿／山下比呂さん



ここ数年、環境活動の促進をめざし、私たち大阪のエコネット近畿、北海道市民環境ネットワーク、地域の未来・志援センター(愛知)、3つの中間支援団体が連携して、各地域で環境活動者のための「助成金セミナー」、助成団体間の情報交換「助成サミット」などを開催してきました。「助成サミット」は助成団体同士の交流と共に、私たち中間支援団体が、助成団体に、市民活動者の声を伝え、より使いやすい、ニーズにあった制度にしていることを目的としています。しかし昨年から新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となり、全国から参加できるため参加者は増えましたが、開催後のフォローアップが困難になりました。そこで、各団体の状況にあった支援を広げるため、2021年度は、以下の事業を行いました。

(1)助成サミット(2回開催)/「環境活動の『継続性』、存続の危機にある環境活動の支援の在り方」をテーマに開催、8団体・のべ24名に参加いただきました。第1回では、NPO法人エコ・モビリティサッポロの栗田氏とNPO法人棚田LOVER'sの永菅氏にご登壇いただき、市民団体の運営や組織面の実態や悩みについて、鼎談型で話題提供しました。第2回では、パナソニックNPO/NGOサポートファンドfor SDGsの組織基盤強化助成を事例として、求められる支援の在り方についてディスカッションを行いました。アンケートでは、「助成金申請を受け付ける側は、申請団体の実際の活動規模が詳しくわからないので、こういったお話が伺えてよかった」という声もあり、申請書だけでは見えにくい団体の実態を知ってもらう機会になりました。2022年度は環境活動の支援の在り方と、助成団体の抱える課題を議論する予定です。(2)資金調達セミナー /中間支援3団体と、助成サミットに登壇いただいた棚田LOVER'sが共催し、助成金の選び方を学ぶ「助成金活用オンラインセミナー」を開催しました。私自身、初めての講師として緊張しながらも、活動内容に合った助成金の探し方や申請前のポイントをお話することができ、貴重な経験になりました。後日個別相談をすることを前提にセミナーの呼びかけをしたため、希望する方へのフォローアップに繋がりました。今後も、資金調達に関してはエコネット近畿が中心となって、継続的な個別相談に注力し、各団体に合った支援の強化を行う予定です。

NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

持続可能な社会に向けた地域づくりを行う市民団体、行政、企業の支援を行う中間支援組織です。①地域資源を活かす収益事業の構築、②団体・人材育成、③社会課題解決プロジェクトへの資金調達、④中間支援ネットワークの構築を柱に、講座や交流会の企画・運営や、事業等のコーディネート、個別相談業務を行っています。<http://www.econetkinki.org/>

【森づくり基金と海のクリーンアップ事業】

コープさっぽろと連携協定を結びました。



左)きたネット理事長／金子正美
右)コープさっぽろ 専務理事／中島則裕さん

特定非営利活動法人北海道市民環境ネットワークは、2022年3月18日、生活協同組合コープさっぽろと「包括的連携協定」を締結いたしました。きたネットでは十数年前から、コープ未来(あした)の森づくり基金の事務局や企画会議に参加して、協働でさまざまな環境保全活動を行ってきました。2016年からは札幌市円山動物園での環境教育プログラム、2021年からはコープさっぽろが全道で実施するHokkaido海のクリーンアップ大作戦へノウハウの提供や、アドバイスをこなしています。今後はさらに連携を深め、様々な事業において相互に協力し、未来へ豊かな環境をつなぐ活動及び持続可能な開発目標(SDGs)に基づく協働事業を積極的に推進して参ります。

【ラブアース・クリーンアップin北海道】

2022年の石狩浜清掃は6/5開催

2021年のラブアース・クリーンアップ in 北海道の活動は、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、参加数は例年に比べて少なく、405企業・団体/11,443名でした。恒例の「ごみ拾いビーチウォーク」も中止となりましたが、有志の呼びかけで、あそびーち(石狩浜)の海岸のごみ拾い活動を実施しました。

2022年も、4月~11月に北海道各地で行われるごみ拾い活動の登録をお願いします!屋外活動が容認されて来ていますが、距離をとり、密にならない工夫をしながら活動しましょう。ラブアース・クリーンアップin北海道のイベントは「オープニング!ごみ拾い」を4月20日に行いました。2つの企業から18名の方に参加いただき、すすきののごみ約10kgを収集しました。「ごみ拾いビーチウォーク」は6月5日(日)に、NPO法人北海道海浜美化を進める会(共催)やNPO法人ezorock、個人会員のみなさんの協力をいただき開催予定です。



●きたネットのネットワークに参加しませんか。会員は以下の2種類です

1.正会員(市民環境活動団体・個人)年会費5,000円(1口)~総会における議決権を有します。
2.1賛助会員(企業・団体)年会費10,000円(1口)~総会における議決権は有りません。
2.2賛助会員(個人)年会費2,000円(1口)~総会における議決権は有りません。

●会員になると...各種連携事業の実施、広報協力、会員間の交流・活動発表の場の提供、イベント参加費等の会員料金適用、きたネットMMLへの参加、各種環境情報の提供など。詳細は事務局にお問い合わせください。